

田園調布小学校の歴史



★沿革

- 〈大正〉
- 14. 11 東京府荏原郡調布村大字下沼部三百番地の一に東京府荏原郡調布尋常高等小学校分教場として開校、青い塔のある木造校舎が完成する。11月22日を開校記念日とする。
 - 3. 4 独立して東京府荏原郡田園調布尋常小学校となる。校章ができる。
 - 4. 8 東京府荏原郡東調布第二尋常小学校と校名が変わる。
 - 7. 10 東京府東京市東調布第二尋常小学校と校名が変わる。
 - 16. 4 東京市東調布第二国民学校と校名が変わる。
 - 18. 7 東京都東調布第二国民学校と校名が変わる。
 - 20. 11 同窓会を「青塔会」と名付ける。
 - 22. 4 東京都大田区立東調布第二小学校と校名が変わる。
 - 23. 4 東京都大田区立田園調布小学校と校名が変わる。
 - 25. 11 校歌ができる。
 - 32. 5 東京都総合研究協力学校発表
 - 39. 6 文部省学校図書館実験校発表
 - 43. 3 校舎改築、現在の鉄筋校舎が完成する。
 - 44. 12 東京都小学校音楽研究協力校研究発表
 - 53. 1 大田区教育委員会研究奨励校発表（教育方法）
 - 54. 3 現在の体育館・プールが完成する。
 - 4 特別教室、花壇などが完成する。
 - 56. 2 東京都小学校視聴覚研究発表
 - 7 屋上工事が完成する
 - 11 大田区教育委員会研究奨励校発表
 - 60. 11 大田区教育委員会研究奨励校発表（教育方法）
 - 63. 11 大田区教育委員会研究奨励校発表（国語）
- 〈平成〉
- 5. 3 大田区教育委員会研究奨励校発表（算数）
 - 6. 2 大田区教育委員会研究奨励校発表（算数）
 - 10 パソコン室ができる。
 - 7. 11 開校70周年記念事業を挙げる。災害対策備蓄倉庫ができる。
 - 9. 2 大田区教育委員会研究奨励校発表（生活・社会）
 - 12. 11 耐震工事が完了する。
 - 13. 1 大田区教育委員会研究奨励校発表（生活・総合的な学習の時間）
 - 16. 1 文部科学省国語力向上モデル事業推進校 大田区教育委員会研究奨励校発表（国語）
 - 17. 1 文部科学省国語力向上モデル授業推進校発表（国語）
 - 11 開校80周年記念事業を挙げる。
 - 18. 11 文部科学省・大田区教育委員会研究発表（道徳）
 - 19. 11 大田区教育委員会研究奨励校（学級活動）
 - 22. 11 文部科学省学力向上実践研究推進校 大田区教育委員会研究推進校発表（全教科）
 - 25. 11 東京都教育委員会・大田区教育委員会研究発表（健康教育）
 - 27. 5 サポートルームが開室する。
 - 11 開校90周年記念事業を挙げる。
 - 29. 8 普通教室に電子黒板等が設置される。
 - 31. 11 大田区教育委員会研究推進校発表（全教科）
- 〈令和〉
- 2. 11 開校95周年記念事業を挙げる。

田園調布小学校の1日(通常時程)

8:30～ 8:40	朝会・集会 読書タイム たてわりタイム
8:50～ 9:35	1校時
9:40～ 10:25	2校時
10:25～ 10:45	中休み
10:50～ 11:35	3校時
11:40～ 12:25	4校時
12:25～ 13:05	給食
13:05～ 13:20	掃除
13:20～ 13:40	昼休み
13:45～ 14:30	5校時
14:35～ 15:20	6校時
下校	補習など



集会委員会作成の映像で児童集会を楽しみました。



コロナ禍でも、間隔を空けて縄跳び旬間を行いました。



奉仕活動では、『たてわり班』で協力して学校中をきれいにしました。

★教職員名

校長 茂呂美恵子 副校長 吉野麻哉子

1-1 寺本 悠子	1-2 栗田由紀子	1-3 西村 麻美
2-1 佐藤 葉子	2-2 柏木こまど	2-3 藤井 傑之
3-1 大高 成友	3-2 酒井美都子	3-3 小木 和美
4-1 高松 俊哉	4-2 岩坂 菜月	4-3 佐藤 翠
5-1 谷 祐伊	5-2 登川 早苗	5-3 椎本 恭平
6-1 岩野健太郎	6-2 小川 万里	6-3 日野 宣彦
6-4 有川 佳孝	音楽 近江ちひろ	図工 長州 忠

家庭 本田 愛梨 算数少 清水 玲子 養護 中村麻生子 栄養 山本 房子 栄養士 松下 紗也

サポートルーム巡回指導教員 鈴木 雅彦・西出加奈恵・岩黒明日香 都事務 尾崎 巴奈恵 区事務 蒔野 恵子・立川 知行 用務 小林 正博・間山しのぶ・高瀬 真澄 警備 野口 武・塩田 哲雄・谷地 敏明（民間委託） 講師 水野 玉樹・武内 浩美・佐々木貴子・指宿 孝子・池田 麻奈・野寄 菜那

副校長補佐 頼 恭子 サポートルーム専門員 竹花 幸恵 読書学習司書 小林 智子 学習補助員 指宿 孝子・藤本 真美 特別支援員 池口 明洋 教員支援員 島田 綾子 理科支援員 正木真由美・五十嵐純子 体育指導補助員 藤本 真美 外国語教育指導員 アイリーン・ヴェーガ

カウンセラー 川越友美子・古崎 幸 生活指導補助員 小管 めいあ 児童誘導員 宝樹 永憲（民間委託） 給食調理 フジ産業株式会社

★学校医

内科 高橋 茂 歯科 矢野 圭介 眼科 石川まり子
耳鼻科 杉浦 夏樹 薬剤師 田代 正夫

★学校支援地域本部 『でんしょう応援団』

名誉会長 千葉 謙吾
会長 小山 誠司
副会長 高坂 秀樹・北内 英章・宝樹 永憲
コーディネーター 京野 勢津子・小口 洋子・高尾 知美

祝 開校95周年

～つながる伝統 つながる地域 つながる未来～

令和2年度

大田区立田園調布小学校



本校は、大正14年11月22日に調布尋常高等小学校（現・東調布第一小学校）の分教場として開校し、一面の草原の中に、児童200名余り、教員5名の小さな学校が誕生しました。そして、昭和3年4月には田園調布尋常小学校として独立し、以来95年、空襲や自然災害をはじめとする幾多の苦難をも乗り越え、その度に大田区はもちろんのこと、地域の皆様が出し合い、この学校を守り育ててくださったのです。現在までに、本校の卒業生は15800人を超え、日本、そして世界で活躍する素晴らしい人材を輩出し続けています。

ところで、本校は、現在、主体的・対話的で深い学びの追究を目指し、問題解決学習の日常化を図り、ICT機器の効果的な活用や協働的な学習の充実に努めています。こうして、先進的に取り組む研究活動とその成果の発表は、いつの時代にあっても区内外から高い評価を得てきました。また、少子化が社会問題となる現在、給食や集会、体力向上、奉仕活動などの取り組みを通して、異学年による『たてわり班』

活動を重視してきました。更に、国際理解教育、食育、体育・健康教育の充実にも力を入れてきました。

こうした教育活動の充実には、PTAをはじめ、学校支援地域本部『でんしょう応援団』やおやじの会『DUO』（田小ウルトラおやじーズ）、同窓会『青塔会』の皆様の御支援・御協力が欠かせず、保護者や地域の皆様との連携の輪が年々拡大され、夏休み『わくわくスクール』や『星空映画会』など、特色ある活動が連綿と引き継がれています。また、“本物と出会う”ゲストティーチャーの招聘も積極的にすすめ、更なる教育活動の充実・発展へとつながっています。

子どもたちには、開校95周年にあたり、田園調布小学校の輝かしい歴史を振り返り、お世話になった方々への感謝の気持ちを大切にしよう努めるとともに、本校で学んでいることを誇りに思い、こうした伝統を次の世代に確実に継承していく使命と責任を育んでいきたいと思ひます。今後も、子どもたち、保護者、地域の皆様と教職員が心をひとつに、本校の更なる発展のために力を尽くしてまいります。 校長 茂呂 美恵子

【学校教育目標】
よく学び
よくあそび
よりよく生きる
田小の子

校歌

作詩 阪本越郎
作曲 大中寅二

光満つ 多摩の流れを
清き心を鏡とし
望み見て

田園調布の子等は集う
子等は集う

このよき丘に

常緑なる 松の翠に
囲まれて

直き操を心とし
わが学び舎よ
誉も高く

ここに啓く
ここに啓く



令和2年11月21日『記念の会』には“はねびよん”も登場しました！

田園調布小の1年

田園調布小学校・田園調布の地域の魅力について調べ、『記念の会』で発表!



入学式



でんしょう遊びまつり



わくわくスクール
※令和元年度夏季休業中実施



社会科見学 (3~6年)



伊豆高原移動教室 (5年生)
※令和元年度実施



とうぶ移動教室 (6年生)
※令和元年度実施



たてわり班活動



音楽会
※令和元年度実施



お話ポケットの読み聞かせ



星空映画会
※令和元年度夏季休業中実施



6年生を送る会
※令和元年度実施



卒業式
※平成30年度実施

開校95周年記念の行事いろいろ



体育発表会



書道教室 (3~6年生)



ダンスパフォーマンス教室
(全学年)



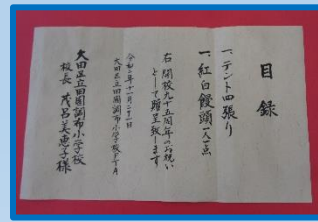
折り紙教室
(1・2年生)



展覧会



記念の会



PTA記念品
(テント4張り、紅白饅頭)



記念給食「鯛めし」



洪沢栄一翁のお話
(4~6年生)

※校歴資料室の整備や、全校児童による航空写真撮影、『木のしおり』の作成・活用も行いました。



1年生「お気に入りいっぱい見つけたよ」

1学期に生活科の学習で学校探検をしました。気になる場所に行き、何があるのか確かめたり、お話してみたい人にインタビューをしたりして、学校のことをたくさん知り、お気に入りを発表しました。『記念の会』の発表では、みんなのお気に入りを紹介し、学校への熱い思いを心を込めて伝えました。



2年生「大すきいっぱいわたしの町」

生活科の学習で、自分たちの身近な地域を探検し、「田園調布のすてき」探しをしました。駅舎、イチヨウ並木、公園、馴染のあるお店、多摩川の景観など、たくさんの「すてき」を見付けました。また、地域の方々からお話を伺い、町のすてきを守るために、そこに住む人々の思いがあることに気付きました。



3年生「地域安全マップをつくろう」

通学路等について危険が潜んでいる所や、安心して過ごせる場所などを調べました。グループごとに1枚の地図にまとめ発表し合い、改めて安全な生活を送るための視点を学びました。また、学習を通し日々地域の人たちによって見守られ安全に過ごすことができていることに改めて気づき感謝の思いを高めました。



4年生「95周年 つながる伝統 ~田園調布小学校のよさを伝えよう~」

国語の学習で、「田園調布小学校のよさと私たちにできること」について調べました。資料を使った調査やインタビュー等を通して分かったことをグラフや表に表し、自分たちで写真を撮影して新聞にまとめました。支えてくださる方に感謝しながら、よりよい学校にしていきたいと思いをもちました。



5年生「“洪沢栄一”から学ぶ~どのように地域とかわり、よりよい人生を送るか~」

田園調布の町を作り、「日本資本主義の父」と呼ばれる“洪沢栄一”についてグループで調べ学習を行いました。模造紙にまとめたり、ペープサートやプレゼンテーションソフトなど使ったりして表現の仕方を工夫しました。この学習を通して、これからの田小を支えるのは自分たちだという思いをより強めました。



6年生「私たちにできること」

国語の学習で、「私たちににとって身近な田園調布小学校や田園調布の町をよりよくする」という視点で問題を見だし、私たちにできることを具体的に考えました。また、グループや学級で話し合った提案を実践することで、自分たちの力で学校や町をよりよくしていこうという思いを高めました。



代表委員会の取組み

祝 95周年

受け継ぎ



な



みんなのハート

『記念の会』の代表委員会コーナー

堂々とした発表態度は、さすが、代表委員! 頼もしい挨拶でした。



各学級から募集した言葉を基に、代表委員会で考えて作った「メッセージ」です。『記念の会』では、「学級の紹介」の中で担当文字を発表しました。

